

活動概要

基本データ

日時：2019/2/7 11:00～17:00
場所：生協本部横会議室
運営体制：
職員9名 | 学生アドバイザー16名

目的/概要

入学準備センターに来場する新入生保護者を温かく迎えるために、各コンテンツの前半を座学、後半を接客場面のロープレを行う事で、確実に適格な提案を行う事ができるように、コンテンツ毎の内容をチェックし整理する。

POINT.1

誰のための入学準備センターか？が明確にされていました。



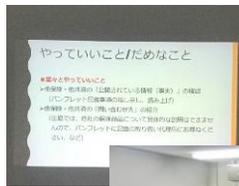
新入生保護者の知りたいことを「学生」が語る

学生アドバイザー一人一人が新入生だった時、何が判らなくて何が不安だったのか思い出しながら、今回の研修会を受ける事で、自身の生活や友達の具体的な事例を例にしながら、入学準備センターに来場された新入生や保護者の知りたいに対応したトークと引き出しを身につけてほしいとレクチャーをされていました。

「職員が語れない現役学生の生の学生生活や学習の様子などを皆さんの言葉で語ってほしい。」(職員吉岡さん談)

POINT.2

学研災・学研賠償(学研賠)と学生総合共済・学賠・就保他



▲大学に迷惑をかけてはいけないけれど、共済・学賠の強みはしっかり語ろうという提起がされています。

立場を明確にして話す内容がまとめられていた大学が「原則全員加入」としている「学研災」「学研賠償(学研賠)」「付帯学総」と「学生総合共済」「学賠」「就保」についてレクチャーを受けた後、小グループに分かれて全員が「スタッフ役」「新入生役」「保護者役」を経験するロープレを行いました。想定問答集も活用したFAQも盛り込まれていました。

POINT.3

「オープニングトーク」「ミールシステム」



新入生の生活がイメージできることを心がけることを。

入学準備センターでは、「入学準備読本」に基いたレクチャーを受けられた後、「住まい斡旋会場」へ誘導するスタイルをとっておられます。まずはしっかりと理解して頂きたい内容をしっかり伝える事が前提という作り込みをされていました。ミールについては職員さんがロープレの見本を行っておられました。

訪問者からひとこと



アドバイザー全員が主体的に関わり、「自分たちの後輩を迎えるんだ」という意気込みを感じた研修会でした。実践の中で「自信をもって話せる点」「聞かないとまだ判らない点」を整理し判らない点は予想で答えず判るスタッフに問い合わせて回答する事に気を付けながらスキルアップを目指して頂きたいと感じました。

[新学期]
×
[安全・安心]



京都大学生協
アドバイザー研修会



京滋・奈良エリア